



株式会社丸正フーズ
総務担当課長
愛江田 謙一



株式会社MEISEI
専務取締役
坂元 正孝

珠玉の一言

金型づくりは人づくり

「株式会社MEISEI S E I」は車やバイクに使われるプラスチック製品用の金型を作っている会社である。最近、SDG Sに關わる取り組みを始めていて、日向夏・ブドウの残渣と樹脂を混合したタンブラーや、ペットボトルキャップを使ったキーホルダーを作ったりしている。えびの工場では、キーホルダー等を手軽に作れる「簡易成形機」の製作も始めている。

ここに務める坂元正孝さんは、昔からものづくりが好きで、自分の作ったものが製品になっているとやりがいを感じている。坂元さんが仕事をやるうえで、大切にしてていることは

チームワークと個性である。その人にあつた仕事ができるように心がけていると話していた。

えびの工場を操業したころは、家族の心配も押し切つて夜の深夜0時ころまで働いていたこともあつたぞうだ。その甲斐もあつて取引先からは「よそよりも良いものを作ってくれる」と称賛されたぞう。

これからは、もっと若い人たちに技術を引き継いでもらい、100年大企業を目指して、この会社が続いてほしいと話していた。そんな坂元さんの珠玉の言葉は金型づくりは人づくりで、この仕事を通して自分も会社も成長していきたいと話していた。

珠玉の一言

すべての食べ物生きています

株式会社丸正フーズでは、牛肉や豚肉、ハム・ソーセージを全国で販売している。管理部の愛江田謙一さんは総務の業務を担当している。ちなみに愛江田さんは、飯野高校出身で弓道部であった。弓道では、県3位という輝かしい成績も残している。

仕事内容としては、牛肉、豚肉を加工、出荷することである。まず、枝肉にする作業から入る。枝肉にしたあとに部位を分けて、北海道から鹿児島のお店にお肉を販売している。また、焼き肉のタレも製造販売している。

愛江田さんは、会社として気をつけていることは、衛生面だということ。食品を取り扱っているの、衛生面は徹底しているぞうだ。どのようなときにやりがいを感ずるかという、商品を食べてくださつた方々から、電話や手紙で「丸正フーズのお肉やハムが美味しかった」という声が届くときだという。

愛江田さんは続けて「自分は、絶対に食べ物に残しません。すべての食べ物が生きています。」と語っていた。私たちもその姿勢を見習いたい。

会社概要



えびの市の誘致企業として昭和61年に大阪よりえびの市に進出し、グループ牧場で飼育した牛・豚から、ボックスミートをはじめ、ハム・ソーセージ等さまざまな食肉製品を製造しています。

代表者 / 代表取締役 石田 貴也
設立 / 昭和54年4月1日
資本金 / 8,000万円
本社所在地 / えびの市大字大河平4633番地
従業員 / 160名(うち市内出身者85名)
Mail / aieda.kenichi@marushofoods.co.jp
HP / https://marushofoods.com



TEL.0984-33-4129 FAX.0984-33-1876

会社概要



国内3工場(名古屋・熊本・宮崎)とベトナムの4拠点が連携して、金型製作からアフターフォローまで行い、主な製品として自動車・バイク用レンズ周り金型・内外装のプラスチック用金型を設計・製作をしています。

代表者 / 代表取締役社長 渡邊 祐子
設立 / 平成3年7月20日
資本金 / 3,800万円
本社所在地 / 愛知県知多郡東浦町大字緒川166-5
所在地 / えびの市大字小田1350番地
従業員 / 29名(うち市内出身者21名)
HP / https://meisei-japan.com



TEL.0984-35-2931 FAX.0984-35-2936